



うみかぜ 海風

御前崎港管理事務所だより87号 (H28.6)



「津波救命艇」2号艇

「津波救命艇」2号艇の導入

平成28年3月の1号艇に引き続き、平成28年6月17日に2号艇を設置いたしました。

御前崎港の「SOLAS区域」では、レベル2の津波といわれる発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波が発生した際に、津波到達時間前に浸水想定区域外への避難が困難な区域に「津波救命艇」を設置することとしております。

本港では4艇の配備を計画しており、残る2艇についても早期に配備することとしております。



【施設概要】

- ・定員: 25名
- ・大きさ: 長さメートル8.7m・巾3.5メートル・高さ3.1メートル、満載時重量5.3トン
- ・材質: FRP製(周囲は激しい衝撃から中の人を守るクッション材で覆われています。)
- ・主要設備: 簡易トイレ、衛星通信機など
- ・装備品: 飲料水、非常食、医療薬等防災用品など(7日分)

SOLAS区域: 2001年9月のアメリカ同時多発テロ事件を契機として、2004年7月から、「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安確保等に関する法律」が施行されました。この法律は、国際海事機構における改正SOLAS条約を受けたもので、外国船舶が利用する国際埠頭では、立入制限区域を設定することとしています。制限区域はフェンスで囲われ、センサー、監視カメラ、警備員により監視され、人及び車両等の出入り管理を行っています。

みなとかつお祭り

5月28日(土)に御前崎港の南駿河湾漁業協同組合市場(旧御前崎漁協)にて、「第6回御前崎みなとかつお祭り」が開催されました。かつおや生しらすなどの近海で取れた新鮮な魚を販売するコーナーには長い列ができ、あっという間に完売しました。また、魚を触ることもできるミニ水族館も開かれ大人だけでなく子供も楽しめるイベントとなりました。



エコパークだより

エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。7000坪の敷地には、約400種類の花や木が植栽されており、1年を通して草花が楽しめます。

あじさい

アガパンサス

オオトリトマ



園内では、色鮮やかにあじさいが咲き誇っています。また、アガパンサスの花、オオトリトマの花も見頃を迎えています。アガパンサスの花姿、爽やかな薄青い花の色は、初夏に相応しい花と言えます。これらの花は7月中旬まで、楽しめます。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております

連絡先: 御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6129-1
電話: 0548-63-3213 FAX: 0548-63-2173 メールアドレス: omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>

